

あかるいまち 21

No.1459 2021年11月25日
組合員活動推進課 082-532-1264

	11月	2021年度
組合員ふやし	131人	968人
出資金ふやし	1823万円	9329万円
純増	210万円	△418万円

班交流会を開催 ～東区北支部～

11月17日(水)戸坂福祉センターにて「脳いきいき班」と「はなみずき班(朗読)」の班交流会を開催し、職員を含め11名の参加がありました。

コロナ禍で班活動ができない期間が続く、支部の運営委員会で何か楽しいことができないかということでの開催でした。それぞれの班会でどんなことをしているのかを紹介・交流しました。

まずは「はなみずき班」の紹介。ラジオ体操で軽く体を温め、みんなで関今日子さんの「ひとことじてん」を読みました。その後、班員さんの朗読を聞きました。声を出すこと、感情をこめて読むことの大切さを学ぶことができました。

次に「脳いきいき班」。今回は絵手紙作りでした。初めての方もおられ、どんなふうにかいたらいいのか、どんな言葉を書こうかと迷いましたが、講師の方がわかりやすく丁寧に教えてくださり、みなさん素敵な作品ができました。

参加してくださった方からは「久しぶりに楽しい時間になりました」「また参加したい」などうれしい声を聞くことができました。今後も楽しい企画を計画していきます!!



子育て応援企画開催!

～スマホとの付き合い方を考えてみました～

11月20日(土曜日)10時から生協けんこうプラザ5階会議室にて、広島国際大学 健康科学部医療福祉学科 准教授の西村いづみ先生を迎えて「スマホから、こども達を守ろう」と題して、スマホとの付き合い方を学習しました。

参加者は組合員さんと職員を合わせて16名、学習にちょうど良い参加数でした。

冒頭、「スマホはよくないもの」「害のあるもの」など、色々な報道もあり、思い込んでしまっているけど「ホント?」なのと。確かにテレビが家庭で普及した時、父や母から「画面から離れて見なさい」「長い時間見ていたらよくない」など。時代は変われど「テレビ」も「スマホ」も同じような感覚なのかな?と話を聞いて思いました。

害は無いにしてもスマホを使用する為のルール作りは大切。既にスマホはなくてはならない存在となっている今、「害」としてではなく子どもと親とが話し合い、どの様に上手く付き合っていくのがいいのか考える事こそ大切だと実感した学習会となりました。

